

学習・教育到達目標とその評価方法(2011年度入学生用)

学習・教育到達目標	関連する基準1(1)の項目	評価方法	備考
(A)健全な社会生活を営むための常識を持ち、地球的視点から多面的に物事を考え、他者と協力して問題解決にあたることができる力を育成する	①人前で自分の考えを説明し、他人の考えを聞いて意見交換をすることができること。情報を収集、整理して、考察をレポートに表現できること。チーム作業を通して問題解決にあたることができること。	◎(d)-14 ○(f)	※
	②社会生活を営むための常識的な知識を習得し、地球的視点から多面的に物事を考えることができること	◎(a) ◎(c)自然科学	※
(B)グローバルなネットワーク社会で活躍するための、国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を育成する	①国際的に通用するコミュニケーション基礎能力としての英文読解力と会話力を身につけ、国際標準語としての英語を通してグローバルな考え方を身につけること	◎(f) ◎(d)-14 ○(a)	※
(C)パソコンとインターネットの利用方法を習得し、仕事や生活に活用できる力を育成する	①Word,Excel,PowerPoint,Internet等の情報技術を活用し、仕事の改善、効率化などに活かすことができること	○(e)	※
(D)物事の仕組みを系統的に考え、データを重視した論理的な判断ができる力を育成する	①論理的に物事を考えるための道具としての数学的思考を学び、現象の定式化の方法と計算の仕方を知得することにより実社会で多用される数学モデルが理解できること	◎(c)数学 ◎(d)-7 ○(e)	※
	②データの統計的解析の手法を理解し、身の回りで見られる情報の調査、分析ができるようになること、統計数値を正しく読むことができること	◎(c)数学 ◎(d)-7 ○(e)	※
	③プログラミング言語を理解し、簡単な問題を解析し、プログラムを作成し、デバッグすることができること	◎(d)-5 ◎(d)-6 ○(e)	※
	④基本的なアルゴリズムとデータ構造を理解し、プログラミングによる実現方法を理解できること	◎(d)-1 ◎(d)-4	※
(E)情報システム学について理解し、情報システム領域の基本的な専門技術を習得する。特に情報システム開発技術を習得することにより、情報システムの開発に携わることができる技術力を育成する	①情報システム学の体系を理解し、情報社会の中でどのように情報システムと関わっていくべきか考えることができるようになる	◎(d)-10 ◎(d)-11 ◎(d)-15	※
	②コンピュータシステムを理解し、基本情報処理試験の問題が解けるようなレベルになる	◎(d)-2	※
	③OSとコンパイラの仕組みを学習し、種々のソフトウェアの基本的構造と動作の仕組みが理解できるようになる	◎(d)-2	※
	④データベースの概念を理解し、データベースの設計と活用ができるようになる	◎(d)-8	※
	⑤チームまたは個人として、情報システムを分析、設計、開発する手順と方法を理解し、業務の仕組みの要件を定義し、モデル化するための図式表現の読み書きとデザインができるようになる	◎(e) ◎(d)-9 ◎(d)-13 ◎(d)-15 ◎(h)	※

	⑥通信とネットワークの基礎を学び、それぞれのシステムがどのような原理で成立しているか知り、新しい通信システムを理解できるようになる	◎(d)-3	テレコミュニケーションまたはネットワークコンピューティングの授業で、通信とネットワークの原理に関する理解度と応用力をテストにより評価する。 テレコミュニケーション、ネットワークコンピューティングのうち1つ以上の期末成績評価がB以上	※
	⑦企業活動の基本的な仕組みを理解し、企業内部の諸活動の意味と役割およびその中の情報活用の方法が理解できるようになる	◎(d)-10 ◎(d)-12 ◎(d)-15	経営と情報、ビジネスモデル、経営情報システム、生産情報システムの授業で、企業活動の内容を理解し、そのなかで情報システムが果たす役割について考察する力をテストまたはレポートにより評価する。 経営と情報、ビジネスモデル、経営情報システム、生産情報システムのうち1つ以上の期末成績評価がB以上	※
	⑧コンピュータネットワーク社会と技術者倫理、情報倫理、情報セキュリティの関係を理解し、義務、責任、権利について説明できる	◎(b)	情報リテラシーと倫理または情報と法の授業で、技術が個人・組織・社会に及ぼす影響や効果、および技術者の責任、情報セキュリティについての理解度をテストにより評価する。 情報リテラシーと倫理、情報と法のうち1つ以上の期末成績評価がB以上	
	⑨情報システムを分析、設計する際の方法論や、統計解析、データベースなどのプログラムを演習を通して活用することができるようになる	◎(d)-13 ◎(d)-15 ○(e)	情報システム演習1, 2の授業で、情報システムを分析し、設計するためのいろいろな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を毎週提出するレポートにより評価する。 情報システム演習1, 2の期末成績評価がB以上	※
(F)チームまたは個人として、目標を設定し、自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表する力を育成する	①チームまたは個人として、目標・問題を設定し、スケジュールを立て、計画的に情報を集めて考察し、製作し、自らの見解を加えて記述し発表することができる	◎(f) ◎(g) ◎(h) ○(d)-12 ○(d)-14 ○(d)-15	自主的、継続的に学習できる能力、与えられた制約の下で計画的に製作を進め、まとめる能力、プレゼンテーションなどのコミュニケーション能力について、情報システム特論の授業でのチーム活動成果物の内容・発表、および個人としての卒業研究の研究過程、卒業論文の内容・発表により評価する。 情報システム特論、卒業研究1の評価がB以上。卒業研究2,3、卒業論文の評価が各々C以上	※
(G)情報システムの企画、設計、構築の面から、情報技術を問題解決に応用できる力を育成する	①情報システムの企画、設計、構築の方法論と技術を詳しく学び、それらが問題解決にどのように役立つかを理解することができる	○(d)-4,8,9,10,11,12,13 ○(e) ○(b)	A(情報とシステム)分野の各種の専門科目を学ぶことにより得られる情報システムの企画、設計、構築に関わる情報技術と知識を理解しているかどうか評価する。 3年次終了時においてA(情報とシステム)分野の専門科目の単位数が10単位以上であり、上位5科目の期末成績評価の平均がB以上	#
	②情報システムの企画、設計、構築の方法論と技術を演習を通して体得し、実際の問題解決に応用できること	○(d)-4,8,9,10,11,12,13	専門演習Aの授業で、情報システムの企画、設計、構築の方法論と技術を実際の問題解決に応用できる力を、演習レポートの内容および作成した成果物で評価する。 専門演習Aの期末成績評価がB以上	#
(H)情報システムと人間の内的、社会的活動の面から情報技術を問題解決に応用できる力を育成する	①情報システムと人間の内的、社会的活動に関する理論と分析技術を学び、それらが問題解決にどのように役立つかを理解することができる	○(b) (d)-7 ○(d)-11 ○(d)-12	B(人間と社会)分野の各種の専門科目を学ぶことにより得られる人間の内的、社会的活動に関する理論と知識を理解しているかどうか評価する。 3年次終了時においてB(人間と社会)分野の専門科目の単位数が10単位以上であり、上位5科目の期末成績評価の平均がB以上	#
	②情報システムと人間の内的、社会的活動に関する理論と分析技術を演習を通して体得し、実際の問題解決に応用できること	○(d)-7 ○(d)-11 ○(d)-12	専門演習Bの授業で、人間の内的、社会的活動に関わる理論と分析技術を実際の問題解決に応用できる力を、演習レポートの内容と作成した成果物で評価する。 専門演習Bの期末成績評価がB以上	#
(I)情報技術を活用した企業経営と経営における情報システムの役割の面から情報技術を問題解決に応用できる力を育成する	①情報技術を活用した企業経営と経営における情報システムの役割に関する理論と分析技術を学び、それらが問題解決にどのように役立つかを理解することができる	○(d)-10 ○(d)-11 ○(d)-12 ○(e)	C(経営と組織)分野の各種の専門科目を学ぶことにより得られる企業経営と情報システムに関する理論と知識を理解しているかどうか評価する。 3年次終了時においてC(経営と組織)分野の専門科目の単位数が10単位以上であり、上位5科目の期末成績評価の平均がB以上	#
	②情報技術を活用した企業経営と経営における情報システムの役割に関する理論と分析技術を演習を通して体得し、実際の問題解決に応用できること	(d)-10, ○(d)-11 ○(d)-12	専門演習Cの授業で、企業経営と情報システムの役割に関わる理論と分析技術を実際の問題解決に応用できる力を、演習レポートの内容と成果物で評価する。 専門演習Cの期末成績評価がB以上	#
(J)情報システムを構成するコンピュータ技術とネットワーク技術の面から、情報技術を問題解決に応用できる力を育成する	①情報システムを構成するコンピュータ技術とネットワーク技術を学び、それらが問題解決にどのように役立つかを理解することができる	○(d)-1,2,3,4,5,6,7,8,9,12 ○(c)	D(コンピュータと通信)分野の各種の専門科目を学ぶことにより得られるコンピュータ技術とネットワーク技術に関する理論と知識を理解しているかどうか評価する。 3年次終了時においてD(コンピュータと通信)分野の専門科目の単位数が10単位以上であり、上位5科目の期末成績評価の平均がB以上	#
	②情報システムを構成するコンピュータ技術とネットワーク技術を演習を通して体得し、実際の問題解決に応用できること	○(d)-1,2,3,4,5,6,7,8,9,12	専門演習Dの授業で、コンピュータ技術とネットワーク技術を実際の問題解決に応用できる力を、演習レポートの内容と成果物で評価する。 専門演習Dの期末成績評価がB以上	#

注1)備考欄の※は、情報システム一般プログラム(情報システム学科)の学習・教育目標にも対応(#はG~Jのうち1つを選択必修)  
注2)情報システム一般プログラムの学習・教育目標(E)は、「情報システム学について理解し、情報システム領域の基本的な専門技術を習得する」  
注3)関連する基準1(1)の項目欄の◎は主体的に含む、○は付随的に含む